

北区 鉄西連合町内会

地域の課題

つるつる路面での転倒による 負傷者が多い

札幌駅周辺のため交通量が多く、自動車の熱で雪が溶け、寒さで凍ることが繰り返されてつるつる路面が発生。転倒者が多く危険でした。



つるつる路面を解消するため、10月に地域みんなで砂入りペットボトルを作製。この冬、作ったボトルを町内の協力者の家に置き、自由に使うことにしました。ボトル作りをみんなで行うことで地域の交流も深まりましたよ。今年はずるつる路面で転倒する人が少しでも減ることを願っています。

うめ か かずや
鉄西連合町内会会長 **梅香 一哉さん**

解決に向けた取り組み

地域の人たちが集まり、 滑り止めの砂入りペット ボトルを作製



砂入りペットボトルは、じょうごを使って砂をペットボトルに流し込んで作ります。15人が参加し、500本を約1時間かけて作製しました。

中央区 円山第15町内会

地域の課題

救急車が通れないほど道が狭い。 砂箱も足りない

雪出しなどで道路が狭くなり、救急車が通れない道路があるほか、地下鉄駅周辺でつるつる路面が多発。砂箱が設置されていましたが、すぐに砂が無くなってしまい足りていませんでした。



課題マップを基に見て回することで、地域の現状をみんなで確認できて問題意識が深まりました。その結果、道路への雪出しなどが減り車が通りやすくなったほか、砂箱の増設にもつながりました。今冬も、みんなで課題を話し合い、解決に向けて取り組んでいきたいと思っています。

そ か べ まし
円山第15町内会会長 **曾我部 正さん**

解決に向けた取り組み

危険箇所などの課題を 確認するため 町内会・除雪事業者・市が 合同でパトロールを実施



パトロールには町内会からは6人が参加。危険箇所をあらためて認識したほか、冬のルールやマナーをみんなで守っていく意識が高まりました。

みんなの知恵と行動で 安心な冬のみちをつくる

市は除雪や排雪、凍結路面对策など雪への取り組みを進めていますが、地域の課題を解決するために何より大きな力となるのは、そこに住む皆さんの知恵と行動です。地域・除雪事業者・市が集まって意見を出し合い、一緒に考えることで雪と上手に付き合っていくためのアイデアが生まれます。力を合わせて、みんなで安心できる冬のみちをつくっていきましょう。

雪への取り組みをもっと知りたいときは？

雪への取り組みが分かる冊子を配布

ゆきだるマン一家が市の雪対策をマンガで紹介する「パパは雪だるま!」を配布しています。

配布場所 市役所8階雪対策室計画課、区役所など



除雪の状況や地域の取り組みなどをホームページに掲載

雪対策室のホームページでは、除雪車の出動状況が分かるほか、地域で行われている冬の取り組みなど雪に関する情報を掲載しています。

札幌市 雪対策 検索

※その他、本誌とじ込みの「冬のくらしガイド」にも雪への取り組みを掲載していますので、ご覧ください